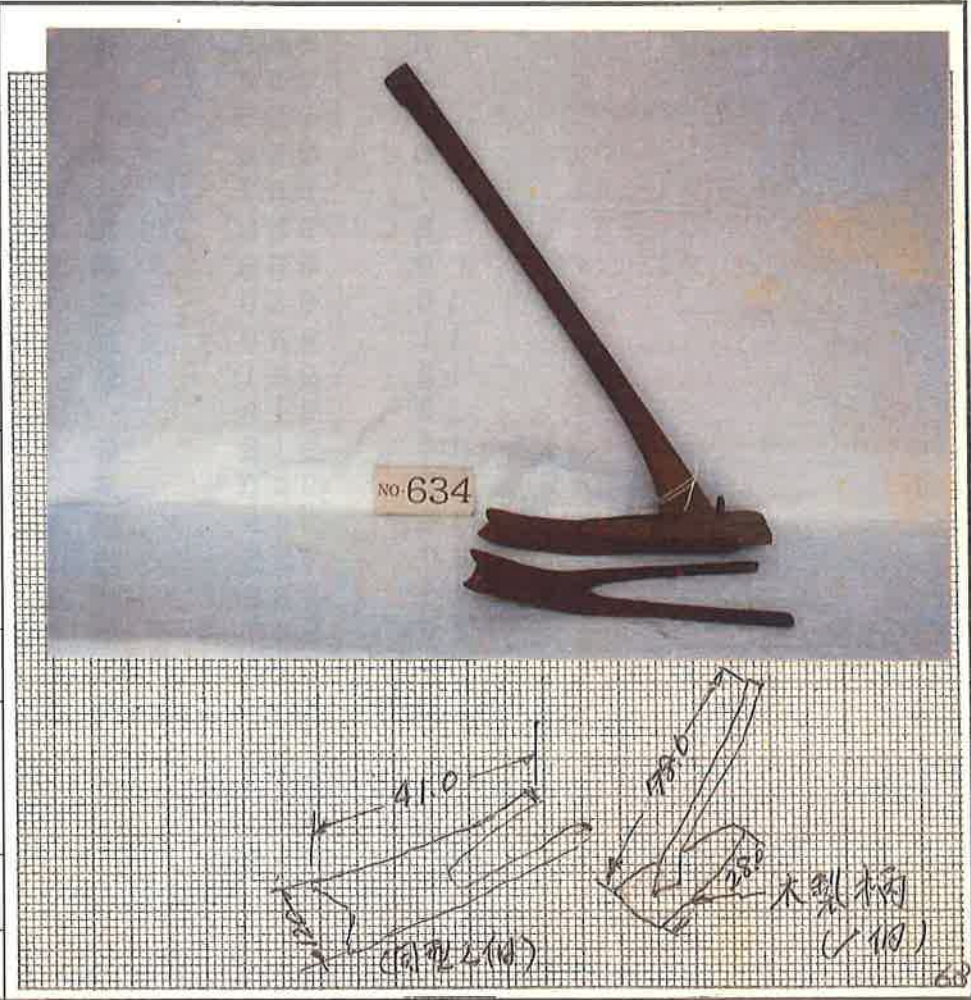


634

民俗資料調査カード

通番号		分類番号	210-①
-----	--	------	-------

資料名	地方名(カタカナで記入してください)	標準名
	ス	ワ
		鋏
寄贈・借用年 月 日	昭和	平成 28年 月 日
寄贈者	住所	金山町大字 玉梨 字 番地
所有者	氏名	
使用年代	明大 初年頃から 明大 末 年頃まで使用・現在も使用中	
使用目的	畑田の耕作に用う	
収蔵場所	市民具館	
備考		
調査年月日	平成 3 年 10 月 21 日	
調査員	玉梨民具保存会	



その他

634

製作地	
製作者	
材料	
製作時期	
購入先 (購入地)	
年号 焼印 墨書 等	

(使用方法の写真、または使用方法の説明)



鋤 (くわ)
 鋤の種類は日本ほど多い国はないと言われます。
 最初に韓国から鉄の鋤が入って来たといわれその後用途によりいろいろに改良されてきたと言われます。